

人権啓発講演会

	実施日	演題	講師名（敬省略）
平成7（1995）年度	12月15日	在日韓国・朝鮮人と日本	鄭 早苗（大谷大学助教授）
平成8（1996）年度	12月6日	フォトジャーナリストからみた人権	牧田 清（フリーカメラマン）
	12月7日	絵本読み聞かせ教室	加藤 啓子（地域文庫）
平成9（1997）年度	3月21日	きよの絵本劇場	清野 友義（書店経営）
	3月13日	絵本を楽しく読みましょう	川端 誠（作家）
平成11（1999）年度	2月10日	吉田松陰と幕末長州藩の被差別部落	布引 敏雄（大阪明浄女子短期大学）
平成12（2000）年度	1月27日	ヒューマンライツシアター「あかね色の空を見たよ」記念講演会 「製作現場から見た若者たち—人間ってすばらしい—」	中山 節夫（映画監督）
	3月23日	「路上で働く子どもたち ～グローバルな視点から子どもの人権を考える～」	浜田 進士（子どもの人権ファシリテーター）
平成13（2001）年度	3月20日	「アフガニスタンの難民・避難民はいま」	中尾 秀一（財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部）
平成14（2002）年度	3月12日	「広告に見る人権、ウラ・オモテ。～TVCMと人権ポスターを見ながら」	美堂 恒男（株式会社 電通 関西支社 クリエーティブ局長）
平成15（2003）年度	3月12日	「ハンセン病問題の理解のために」	坂本 団（弁護士）
平成16（2004）年度	3月17日	「共に生きる社会をめざして」	楠 敏雄（NPO大阪障害者自立生活協会理事長）
平成17（2005）年度	3月22日	「興信所と行政書士の結託による戸籍謄本等の大量不正取得事件」	東田 寿啓（加古川市人権教育指導員）
		ホームレス問題を考える講座—あいりん地区，“釜ヶ崎”ってどんな街—	
	1月17日	—野宿労働者—ホームレス問題の現状と課題	NPO釜ヶ崎支援機構理事長 山田 實
	1月24日	—ボランティア活動—日雇い労働者の生活と健康	ボランティアケースワーカー 入佐 明美
	2月4日	—体験学習—おっちゃんガイド釜ヶ崎現地研修	釜ヶ崎のまち再生フォーラム のみなさん
		—「命…、愛、そして思いやり」—～アスベスト問題から“命の大切さ”について学ぼう～ 私たちにあって、「命」とは、大切な問題です。しかし、現在を生きようとする私たちにとって、「命」とは、「健康問題」だけで解決ができない ようです。アスベスト問題をとおして「命の大切さ」について、考えていきたいと思ひます。	
	3月16日	今、なぜアスベスト問題～—新法実施に向けて—	立命館大学教授 大野 茂
	3月23日	「静かな時限爆弾」みんなが抱えるアスベスト問題	中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族会 世話人 古川 和子 関西労働者安全センター事務局次長 片岡 明彦
	3月30日	アスベスト問題から「命の大切さ」とは	毎日新聞 社会部編集委員 大島 秀利

平成18(2006)年度	3月7日	「取材から見た人権の現状」	霍見 真一郎(神戸新聞 社会部記者)
	環境問題を考える講座 「地球環境や人にやさしい洗剤」—自分で洗剤をつくろう— 現在、自然保護、汚染物質、リサイクル問題など「環境問題」が重要視されています。この問題は、私たち一人ひとりが実践しないと解決しません。 まずは、「洗剤づくりを体験」して、身近な環境について考えてみませんか。		
	1月20日	地球環境や人にやさしい洗剤とは	重曹洗濯やシミ抜き研究会主宰者 松本 勝治(まちの洗濯屋さん)
	1月27日	体験しよう!身体にやさしい洗剤づくり	
	2月3日	プロの洗濯やシミ抜きが、家庭でも簡単にできる	
平成19(2007)年度	3月19日	「食品偽装と闘う」	水谷 洋一(株式会社 西宮冷蔵社長)
	在日コリアン問題を考える講座		
	2月13日	地域に根ざした民族文化	兵庫県朝鮮関係研究所代表 徐 根植(ソ クンシク)
	2月20日	美味しいキムチを作ろう	韓国料理研究家 董 賢淑(トン ヒュンスク)
	2月23日	映画上映「ウリハッキョ」—私たちの学校—	監督 キム・ミョンジョン
平成20(2008)年度	3月28日	〔映画上映と講演会〕 「風の舞」～闇を拓く光の詩～ 塔和子ドキュメンタリー映画「いのちの尊厳を求めて」	川崎 正明(社団法人 好善社理事)
	「命」の重みについて考える講座		
	3月14日	世界のエイズポスター展 解説	元HIVと人権・情報センター 理事長 五島 真理為
	3月21日	世界のエイズポスター展 解説	
	3月28日	「いのち、響きあって」～エイズを通して、人権を考える～	
平成21(2009)年度	3月13日	「水俣病を考える」(1)「水俣病」を若い人たちに伝える①	坂本 美代子(水俣病認定患者)
	3月20日	「水俣病を考える」(2)「水俣病」を若い人たちに伝える②	山中 由紀(大学講師) 藤田 三奈子(高校教師)
	ストレス時代を考える講座		
	3月12日	自殺者三万人時代を検証する	奈良女子大学教授 清水 新二
	3月19日	現代社会の生活と労働から見えてくるもの	関西福祉科学大学教授 三戸 秀樹
	3月24日	広がる「うつ」社会～こころの健康づくり～	兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター 医師 柿木 達也
	平成22(2010)年度	3月19日	「路上を生きる人たち—貧困からの脱出—ビッグイシュー日本版フリーライター・稗田 和博氏とビッグイシュー販売員とのトークセッション※ビッグイシュー基金との共催事業
「いのち」をみつめて			
3月10日		自殺防止活動 電話相談から見えてきたもの	大阪自殺予防センター所長 澤井 登志
3月17日		いのちの日、いのちの時間—自殺者遺族の支援とは—	融通念仏宗大念寺 副住職 関本 和弘

	3月24日	自殺は防げる！－こころに寄り添う大切さ－	関西国際大学教授 渡邊 直樹
平成23(2011)年度	「震災と支援を考える」		
	3月10日	あの日から1年を振り返って	被災地NGO協働センター代表 村井 雅清
	3月17日	あしなが運動45年と東日本大震災	神戸レインボーハウス館長・指導者 富岡 誠・中埜 翔太
	3月24日	被災地からの「がれき」受け入れについて	阪南大学准教授 下地 真樹
平成24(2012)年度	「ハンセン病問題をえる」		
	12月1日	私にとってのハンセン病問題－取材を通して思ったこと－	朝日新聞大阪本社 社会部記者 高木 智子
	12月8日	(ヒューマンライツシアターで実施) (映画上映)	
	12月15日	もういいかい？ままだだよ！－ハンセン病回復者からのメッセージ－	ハンセン病回復者 森 敏治 社団法人好善社理事 川崎 正明
平成25(2013)年度	「日本文化の深層を探る」		
	11月30日	「日本民族」はどこから来たか ～日本人のルーツを探る～	桃山学院大学名誉教授 沖浦 和光
	12月7日	「被差別民」のになった文化・芸能・技術	
	12月14日	「フーテンの寅さん」をめぐる ～日本文化史における「香具師」(やし)～	
平成26(2014)年度	「ヘイト・スピーチってなに？」		
	3月7日	国内外の差別事象や法規制などについて解説	弁護士 丹羽 雅雄
	3月14日	在日コリアンの視点から現場の状況などを解説	コリアNPOセンター代表理事 郭 辰雄
平成27(2015)年度	「平成の貧困社会の現実」		
	11月7日	ビッグイシュー事業を通して見えてきたもの	ビッグイシュー日本代表 佐野 章二
	11月14日	見えにくい女性の貧困	立命館大学 産業社会学部 准教授 丸山 里美
	11月21日	各グループの活動報告	フードバンク関西理事長 浅葉 めぐみ 神戸YMCA・夜回り準備会 会員 野々村 耀
平成28(2016)年度	子どもの貧困を考える ～見えにくい貧困社会の現実～		
	2月15日	子どもの貧困と日本社会 ～子育て支援は日本を救う～	京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授 京都大学博士(人間・環境学) 柴田 悠
	2月22日	子どもと女性の生活困難をどう乗り越えるか	神戸学院大学 現代社会学部 現代社会学科 教授(社会科学) 神原 文子
	3月1日	子どもの「食」をどう支えるか～子ども食堂奮闘記～	にしなりこども食堂(にしなり隣保館 職員) 川辺 康子